

【レジメン】

day 1 ②テセントリク 1200mg/body
 day 1 ⑤アバスチン 15mg/kg
 day 1 ⑩パクリタキセル 200mg/m²
 day 1 ⑫カルボプラチン AUC=6

カルボプラチン投与量=AUC x(Ccr xBSA/1.48+25)

※カルボプラチンの最大投与量はAUC×150までとすること。

AUC	2	3	4	5	6
最大投与量(mg)	300	450	600	750	900

Cockcroft-Gault式

$$Ccr(mL/min) = (140 - \text{年齢}) \times \frac{\text{体重(kg)}}{72} \times \frac{1}{Scr(mg/dL)}$$

女性の場合、Ccrに0.85をかける。

day 2~21 休薬

上記を3週毎に繰り返す。

【治療内容】

実施日	投与薬剤	経路	投薬内容	時間
day1 (/)	<input type="checkbox"/> ① 生食50mL	点滴	プライミング用の点滴です。	15分
	<input type="checkbox"/> ② テセントリク () mg+ 生食250mL	点滴	治療薬です。 *フィルター付輸液セット使用	60・30分
	<input type="checkbox"/> ③ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
	<input type="checkbox"/> ④ イメンド125mg 1カプセル	内服	吐き気予防薬です。	
	<input type="checkbox"/> ⑤ アバスチン () mg+ 生食100mL	点滴	治療薬です。 ※BVの投与速度は下記参照	90・60・30分
	<input type="checkbox"/> ⑥ 生食50mL	点滴	プライミング用の点滴です。	15分
	<input type="checkbox"/> ⑦ デキサート12mg+ラニチジン注50mg+ 生食50mL	点滴	吐き気・過敏症予防の点滴です。	15分
	<input type="checkbox"/> ⑧ レスタミンコーワ錠10mg 5錠	内服	過敏症予防の内服薬です。	⑦開始時
	<input type="checkbox"/> ⑨ アロキシバック50mL	点滴	吐き気予防の点滴です。	30分
	<input type="checkbox"/> ⑩ パクリタキセル () mg+ 5%ブドウ糖液500mL	点滴	治療薬です。 *フィルター付輸液セット使用	*180分
	<input type="checkbox"/> ⑪ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
	<input type="checkbox"/> ⑫ カルボプラチン () mg+ 5%ブドウ糖液250mL	点滴	治療薬です。	60分
	<input type="checkbox"/> ⑬ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
day2 (/)	<input type="checkbox"/> ① イメンド80mg 1カプセル	内服	吐き気予防薬です。	朝食後
day3 (/)	<input type="checkbox"/> ① イメンド80mg 1カプセル	内服	吐き気予防薬です。	朝食後

※テセントリクの投与速度：初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与は30分間まで短縮できる。

※アバスチンの投与速度：初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間で行っても良い。2回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分間投与とすることができる。

※パクリタキセルを含む輸液は流量速度が低下するため、滴数を増加する必要があります。

【化学療法に関わる指示】

嘔気時：□メトクロプラミド () A 静注およびデキサート () mg 静注 ※配合変化のため混合しない
上記効果が不十分な場合

□オランザピンOD錠5mg 1錠内服 (1日1回のみ使用可) ※糖尿病の既往がある場合は使用不可

吃逆時：□メトクロプラミド1A静注

□コントミン10mg 1A 筋注

※メトクロプラミド (注射・錠剤) とH2ブロッカー (注射) またはPPI (注射) は原則併用禁忌です。